

# 平成20年度事業報告書

## I 事業の概要

アンチ・ドーピング活動の日本における統括組織として、教育啓発活動、ドーピング検査、ドーピング検査員の養成事業等を実施した。

## II 事業の内容

### 1. 文部科学省委託事業により、以下の事業を実施した。

事業種別	実施内容	数量/人数	備考
ドーピング防止活動実施体制整備事業	競技会検査	1,737件	(総計：2,635件)
	競技会外検査	677件	
	競技会検査(国体)	145件	
	競技会外検査(国体)	76件	
	DCO講習会	7回(294名)	札幌、東京、大阪、札幌、岡山、福岡にてそれぞれ開催。
新規DCO講習会	6回(117名)		
ドーピング防止普及・啓発事業	アスリートによる普及・啓発キャンペーン(学校訪問)	4回	東京都、和歌山県、福岡県、熊本県で実施。
ドーピング防止教育・研修事業	医師/薬剤師向け研修会	4回(805名)	各地で開催。
	競技者向け研修会	45回(1234名)	
	競技者支援要員向け研修会	4回(279名)	
	服用可能薬のデータベース整備	1回	検討会議を開催
	翻訳、策定 ・世界ドーピング防止規程 ・検査に関する国際基準 ・日本ドーピング防止規程		
アジア地域貢献事業	① 海外派遣		
	➢ ユースコモンウェルス大会	1名	
	➢ OCAビーチゲームズ	2名	
	➢ シンガポールユース五輪組織委員会へのDCO講習会実施	5名	
	➢ OCAサイエンスコングレス	3名	
	➢ 分析機関設立支援		
	② 受入		
	➢ シンガポールユース五輪組織委員会検査担当者	1名 3名	
	➢ アジア人材育成セミナー	24名	
	➢ 分析機関設立支援	4名	

## 2. ドーピング検査事業

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日迄に実施した検査の総数は以下の通り。  
WADA 等からの委託により、夏季五輪北京大会前の競技会外検査を実施した。

種別	競技会検査	競技会外検査	項目計
文科省委託事業	1,882	753	2,635
(内、国民体育大会)	145	76	221
スポーツ振興くじ助成事業	929	---	929
IF/WADA/ANADO 他委託検査	8	132	140
日本障害者スポーツ協会委託検査	---	56	56
国内実施検査	527	614	1,141
小 計	3,346	1,555	
総合計	4,901		

## 3. 新規加盟団体

平成 20 年度は、日本ローラースポーツ連盟、財団法人全日本軟式野球連盟、財団法人日本サッカー協会、2009 年 FIS フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会組織委員会、アジアユースパラゲームス組織委員会が加わり、加盟団体総数 65 団体となった。

## 4. 出版事業

以下の印刷物を作成した。

- ・ ドーピング防止のための選手必携書 2009
- ・ 2009 年禁止リストに関する国際基準（和文対訳版）
- ・ 治療目的使用に係る除外措置国際基準（和文対訳版）
- ・ 検査に関する国際基準（和文対訳版）
- ・ 日本ドーピング防止規程（2009 年版）
- ・ 医師のための TUE 申請ガイドブック

## 5. ISO 認証取得事業

WADA 規程及び検査に関する国際基準に準拠した Doping Control Manual 及び検査実施体制を整備し、ドーピング検査実施体制に関する国際認証である ISO9001 認証を取得（H20 年 7 月）した。

6. スポンサーシッププログラム

アンチ・ドーピング活動を推進の為の自己財源の確保を図る為、スポンサーシッププログラムを実施した。平成 20 年度は、日本コカ・コーラ株式会社から契約解除の申し入れを受けた。これにより、平成 20 年後末時点での協賛企業は以下の通り。

- ・ プログラム A (企業協賛) : ミズノ株式会社 (1社)
  
- ・ プログラム A/B (企業・商品協賛) : 大塚製薬株式会社  
味の素株式会社  
森永製菓株式会社  
明治乳業株式会社  
明治製菓株式会社  
ネスレ日本株式会社  
株式会社ドーム  
花王株式会社  
日清オイリオグループ株式会社  
株式会社ロッテ  
(10社)

以上